

修学旅行情報

今日は修学旅行に持って行くものを確認しておきます。間際になってあわてなくてもいいように、少しずつ準備をしていきましょう。

*旅行全般に必要なもの

大荷物（飛行機に乗るときは預けます）

着替え（4日分）、就寝時に着る部屋着、下着、体操服（長袖、長ズボン）、濡れてもいい服、Tシャツ、短パン、洗面用具、バスタオル、タオル、スクール水着、ビーチサンダル、運動靴、その他シュノーケリングや体験学習に必要なもの

手荷物（機内に持ち込みます）

現金（家～空港の交通費、現地での雑費、お土産代など）、保険証のコピー、常備薬、しおり、筆記用具、雨傘、リムジンバスチケット（購入した者）

☆初日の昼食は空港で弁当とお茶を配り、機内で食べてもらいますので、用意してくる必要はありません。

2日目（11月20日）の荷物の動き

- ①朝の段階で荷物をまとめてチェックアウト。このとき、スクール水着に着替え、Tシャツ・短パンを着る。手荷物としてバスタオルや午後の体験学習の時に必要なものを別にしておく。履物はビーチサンダルで。
- ②大荷物はロビーに並べ、貴重品は預ける。
- ③手荷物を持ってビーチサイドホールへ移動。
- ④ビーチサイドホールでウェットスーツを着用し、手荷物を置いてビーチへ。
- ⑤シュノーケリング講習が終わったら、シャワーを浴びて着替える。水着やバスタオルはビニール袋に入れる。
- ⑥ホテルで昼食。食べ終わったら大荷物を持ってバスに移動。
- ⑦体験学習の場所に移動。

*シュノーケリングの時に必要なもの

スクール水着（上にウェットスーツを着用する予定ですが、よほど天気が良いければ使わないかもしれませんが）、Tシャツ・短パン（ホテル～講習場所の移動時に着用）、ビーチサンダル（ホテル～講習場所の移動時に履く）、着替え（午後の体験学習の時に着る服）、バスタオル（宿泊の時に使うものとは別に）

*メニュー別体験学習の時に必要なもの

①カヌー

カヌーの時に着る服（濡れてもいい服 必ず濡れます）、着替え、濡れてもいい靴かサンダル、雨着、日焼け止め、飲料水（現地に自販機あり）、帽子

②パインジャム

エプロン、汚れてもいい服

③沖縄そば

エプロン、三角巾、汚れてもいい服

④沖縄菓子

エプロン、汚れてもいい服

⑤シーサー

汚れてもいい服

⑥イノー観察

半ズボンか裾がめくれるズボンか濡れてもいい服、タオル、帽子、雨着、飲料水（現地に自販機あり）

⑦ビーチコーミング

汚れてもいい服、運動靴、タオル、雨着、帽子

*民泊の農業体験の時に必要なもの

体操服（長袖、長ズボン）、タオル、帽子

*現地での服装

大阪よりも暖かいので、現地での服装は薄手の長袖（場合によっては半袖）が中心になります。ただし、天気が悪ければそれなりに寒くなるので、パーカーなど上に羽織れるものがあるといいでしょう。